

新津健児宮崎国体へ

鈴木さんら九種目に十三人

十四日から宮崎県で国体が開かれています。当市から次の九種目に十三人が参加されています。

さる九日には市役所分館（旧土木事務所跡）で壮行会も開かれ、選手のみならずは健闘を誓いあっています。

- 弓道 一般男子監督 鈴木 博（本町四）
 - 体操少年少女監督 吉川 勉（柄目本）
 - 弓道一般男子 小林 憲二（滝谷町）
 - バスケット教員男子
 - 明間 芳雄（秋葉二）
 - 武嶋 信幸（東町二）
 - 柔道 一般男子 石黒 久雄（古）
 - サッカー少年男子 桂沢 涉（古）
 - 永井 啓介（新栄町）
 - 太田啓一郎（本町四）
 - 保科 秋弘（田家二）
 - 陸上競技（走高跳） 飯田 浩一（山谷町二）
 - 剣道少年男子 加藤 博之（子成場）
 - バレーボール少年少女 杵糰真由美（七日町）
- （以上敬称略）



最高峰、がグンと近くに

金津地区で「菩提寺山」の登山道を整備

新津市で一番高い山をご存知でしょうか。それは金津地区と小須戸町の境にある標高240mの「菩提寺山」です。

さる9月30日、金津子ども会と金津壮年親和会では、この新津の「最高峰」へ手軽に登れるようにと、登山道の整備を行いました。

早朝、集まった80人ほどの人で、まづ道を掃除し、下草を刈ったり、じゃまな枝を取り払ったりして整備しました。また訪れる人への案内役として、道しるべも取り付けました。

そして道をきれいにし、堀出神社へ下山した一行は、熱いトン汁を食べながら、大人と子ども同志親睦を深めました。

親和会のある会員は一近くにいてもなかなか登る機会がなかったのですが、これらスイスイ登れるようになり、みなさんからも菩提寺山へ登ってほしいです。ネーと語っていました。



9日、市役所分館で行われた壮行会

また十月二十七日から同じ宮崎県で行われる全国身体障害者体育大会に、当市から高橋直人さん（中野）が参加されます。種目は立幅跳と六十メートル競争です。

保険料をかけ忘れると大変

老後の支えとして欠かせない国民年金でも保険料の納め忘れがあると、せっかくの年金も受けられなくなる可能性があります。保険料は毎月または三か月ごとに納付書で納入するのが原則ですが、一度、納め忘れがないかお調べになってください。

ところで保険料の納入には、口座振替制度もあります。この方法を利用されると、銀行（農協）などの口座から、金融機関の代行によって保険料が自動的に納入されますので、滞りなどの心配もなくなり、便利で安心です。

なご口座振替や年金についてのお問い合わせは、市民課国民年金係へどうぞ。

テレビで年金をくわしく解説*

また十月、十一月は「国民年金普及推進月間」にあたり、みなさんから国民年金についての理解を深めてもらうよう、社会保険庁の提供でテレビでキャンペーン番組が放送されます。ご覧ください。

□放送局：NHK、NHK-S、NHK-TBS

□番組名：まごの健康、あすの年金

□放送時間：十月二十日から十一月末まで土曜日の午前八時三十分から四十五分まで

■放送日程とテーマ

十月二十、二十三日：私たちの健康

十一月三日：満二十歳です、国民年金制度

十月十日：いくらになるの年金額

十月十七日：こんなとき年金が受けられます

十月二十四日：婦人の年金

十一月一日：利用しよう、皆さんの施設です

十一月八日：自分の健康

十一月十五日：はたらきながら老齢年金を受けられた方の手続きと年金額

十一月二十二日：国民年金の特例納付をしましょう

十一月二十九日：年金はこのようにして改定されます

十一月三十日：年金の将来



燃えよ人生 本とのふれあい

10月27日から 秋の読書週間です

十月二十七日から十一月九日まで「秋の読書週間」です。

今年には「燃えよ人生」本とのふれあいをテーマに運動がすすめられます。

人生のスタート台にある子どもたちに、本を読む習慣をつけておくことは、これからの人生に大きなプラスになります。

十月二十七日から十一月九日まで「秋の読書週間」になり、この読書週間を機会に子どもと読書について考えてみてはいかがでしょうか。

子どもに読書の習慣を身につけさせるには、まず、本を読むことの楽しさを味わわせることが第一です。

そのためには、子どもが興味を持ち、読みたがるよい本から与えていくのがよいでしょう。子ども自身が、読んだら、はなの穴から、ハチが出て、馬のくそにとまり、またもつて、はなの穴へはいつたでや。

だあと満足感を味わえる本を選ぶ——これが、本に親しませる第一歩です。

お母さんとしては、もっとよい本を、などとお考えになる場合もあるでしょうが、子ども自身の興味を無視して、一方的に親の意向を強要すると、かえって本が嫌いになってしまふこともあります。

また読んだ後は、お母さん

が感想を聞いてあげるなどして、親子のコミュニケーションを通じて子どもに読書上手にリードしていくように心がけたらいいです。

親子映画鑑賞会

秋の読書週間にちなみ、図書館では子どもたちと本の結びつきを深めるように「親子映画鑑賞会」を次のように開きます。お出かけください。

日時：十一月十日（土）

第一回目：午後二時三十分から三時三十分まで

第二回目：午後四時から六時まで

第三回目：十一月二十三日（日）

内容：小学生親子対象：「アルプスの少女ハイジ」ほか

会費：一人百円

参加受付：十月二十三日から、図書館のカウンターで整理券を発行します。一回の定員は百五十名で、定員になりしだい締め切ります。

なお参加者には記念品を差し上げます。

新津の昔ばなし

30

とんと昔があったてですが、あるとき、村のしやが、男二人で旅に出かけたてんが、道はたいて、つかれたすて、ひと休みしていた。そんま、一人の男は、グウグウ、いびきかいてねえらんと、もう一人は、ねえらんといた。ほうしつと、ねえらんといた男のはなの穴から、ハチが一びき、モコモコと出てきて、ブーンと、たつていった。近くにあった馬のくそにとまっていた。

ねえらん男は、「おや、はなから出たハチが、あんなとこにとまってるが、」

水沢謙一

「おや、はなから出たハチが、あんなとこにとまってるが、」

「あ、ごつおを食た、い夢を見たな。」

「お前、どんな、ごつおを食たや。」

「おら、いま、かもちを、よつばら食てうまかった。」

「そうか、お前がねって、」

「あ、ごつおを食た、い夢を見たな。」

「お前、どんな、ごつおを食たや。」

「おら、いま、かもちを、よつばら食てうまかった。」

「そうか、お前がねって、」

「あ、ごつおを食た、い夢を見たな。」

「お前、どんな、ごつおを食たや。」

「おら、いま、かもちを、よつばら食てうまかった。」

「そうか、お前がねって、」

お買物、ご用命は市内で

＜新製品＞

サンス・ノール

500円・1,200円

2,200円・3,200円

にいつオーサカヤは新しい感覚の素適なおかしを作りました。ハリツとするサプレーに甘いソースクリームをサンドしました。



オーサカヤ 本町2 212-0112

お買物、ご用命は市内で

表具

鈴木一心堂

一級技能士 訓練指導員 鈴木正義 本町3 2-2035

靴なら何でも揃う イザワ

靴のイザワ

あくる楽しさを お届けする

TEL (2)0625